

テーマ『これからの社会の創造と生き抜く力の育成』

北海道千歳市立東千歳中学校 校長 加藤 暢
担当者名 教頭 和田 啓司

1. 趣旨 本校のESDの特徴

少人数、へき地校を利点と考え、地域に根ざした活動を通して、一人ひとりの生きる力を育む。校外清掃で地域の環境保全に関心を持ち、南瓜の栽培・販売を通して、募金活動に携わり、地域から世界に目を向けた活動も行っている。また、北海道の先住民族のアイヌ文化学習や人権教室も実施している。

2. 活動・全体計画

①. 地域に根ざした活動

- (1) 農業体験学習（全学年 4月～9月）
- (2) 校外清掃活動（全学年 6月）
- (3) 下の句カルタ大会の開催（全学年 12月）
- (4) アイヌ文化学習（全学年 10月）

②. 世界に目を向けた活動

- (1) 募金活動及び国際交流（全学年 9月）
- (2) 世界を知る授業（全学年 12月）
- (3) 英語暗唱大会への参加（全学年（希望者）10月 課外活動）



3. 活動事例

①. 農業体験学習（全学年 4月～9月）

地域の基幹産業である農業について実際に体験を通して学習するとともに食の大切さについても考えを深める取り組みを行いました。主にかぼちゃの栽培を行い、収穫したかぼちゃを地域の秋祭りにおいて販売し、売上金をミャンマーの教育支援に募金をしました。



②. 校外清掃活動（全学年 6月）

地域の環境保全会の皆さんと共に、学校周辺の校外清掃活動を実施しました。生徒と保全会の方々が3つの班を編成し、各方面の道路沿いの清掃活動を行いました。また、ゴミの不法投棄、ポイ捨てをなくすために啓発看板を作成し、地域に設置しています。この活動は、理科の環境に関する学習と関連付けて実施しています。



③. アイヌ文化学習（全学年、小中合同 10月）

アイヌ文化振興・研究推進機構より講師に來校いただき、北海道の先住民族であるアイヌ民族の文化、歴史を知るための授業を実施して、人権の尊重、文化の多様性の尊重などの価値観を育成しています。また、この授業に関連して、地元の講師による人権教室も開催しています。



④. 下の句カルタ大会の開催（全学年 12月）

千歳市の適応指導教室「おあしす」の児童生徒、地域の老人クラブの方を招待し大会を開催し、交流を図るなどして、地元の大切な文化を継承することに取り組んでいます。



⑤. 募金活動及び国際交流（全学年 9月）

農業体験活動でかぼちゃを販売した売上金を、ミャンマーの子どもたちの教育支援金として寄付しました。また、支援した子どもとの交流を促進し、コミュニケーション力の向上を図ると共に、ミャンマーの現状について、地域において情報発信しました。



4. 成果と反省

コロナ禍ではあるが、規模を縮小しながらも活動することができた。

特にカボチャの栽培・販売については、日々の手入れを欠かさず行い、収穫も一生懸命行い、地域の観光名所で販売することで、自分たちの手で作ったカボチャを、大勢の人が購入してくれる喜びを味わうことができた。今後も継続していきたい。

学校メールアドレス jh-higashi.c@ed.city.chitose.hokkaido.jp